地理歴史科（世界史Ｂ）学習指導案（例）

|  |  |
| --- | --- |
| 日時 | 令和○年○月○日（○）第○時限 |
| 学年・組 | ○○科　○年○組　世界史Ｂ選択（○○名） |
| 教材 | 教科書名（出版社名）資料名（出版社名） |
| 指導者 | 教諭　○○　○○ |

１　単元名　　第○章　諸地域世界の結合と変容　　第○節「ヨーロッパの拡大と大西洋世界」

２　単元の目標

ア 16世紀から18世紀までの大西洋世界の歴史に対する関心を高め、意欲的に追究できる。(関心・意欲・態度)

イ　16世紀から18世紀までの大西洋世界の歴史について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。(思考・判断・表現)

ウ　16世紀から18世紀までの大西洋世界の歴史に関して、その時代に作成された資料から、有用な情報を読み取ったり、図表などにまとめたりすることができる。(資料活用の技能)

エ　16世紀から18世紀までの大西洋世界の歴史の特色などを理解し、その知識を身に付けることができる。

(知識・理解)

３　単元の評価規準

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 関心・意欲・態度 | 思考・判断・表現 | 資料活用の技能 | 知識・理解 |
| 16世紀から18世紀までの大西洋世界の歴史に対する関心を高め、意欲的に追究している。 | 16世紀から18世紀までの大西洋世界の歴史について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 | 16世紀から18世紀までの大西洋世界の歴史に関して、その時代に作成された資料から、有用な情報を読み取ったり、図表などにまとめたりしている。 | 16世紀から18世紀までの大西洋世界の歴史の特色などを理解し、その知識を身に付けている。 |

４　指導と評価の計画（８時間）　　●…記録に残す評価　　○…指導に生かす評価

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 次 | 時 | 学習内容 | 関 | 思 | 技 | 知 | 評価規準等（評価方法） |
| １ | １ | ○大航海時代・「南蛮屏風」には何が描かれているかを読み取る。・南蛮船のアジア来航を促したヨーロッパの情勢をまとめる。 |  |  | ヨーロッパは、どのようにして世界各地に進出したのだろう。● | ○ | ・「南蛮屏風」を観察して、描かれた内容等を読み取っている。（ノート）・既習事項を活用し、ヨーロッパ世界の情勢をまとめている。（ワークシート） |
| ２ | ２３ | ○ルネサンスと宗教改革・当時の絵画を活用して、中世とルネサンス期の特徴についてまとめる。・ルネサンス期の芸術活動について理解する。・ルネサンスと宗教改革の関連についてまとめる。・ルネサンスが「時代の転換点」であるとされる理由を考える。 | ● | ◯ |  | ○○ | ルネサンスと宗教改革は、どのような関係にあったのだろう。・古代ギリシア、ローマの生き方に立ち戻り、人間性豊かな生き方を求めたことを読み取っている。（話合いの様子）・ルネサンス期に生まれた人間や自然に対する合理的な探究活動を理解している。（ワークシート）・ルネサンスと、信仰の原点を聖書に求める宗教改革とのつながりをまとめている。（ワークシート）・既習事項や現代の歴史から、社会のしくみを大きく変えた要因を考えている。（ワークシート） |
| ３ | ４ | ○ヨーロッパ主権国家の形成・16世紀以降のヨーロッパの国際情勢についてまとめる。 | 16～17世紀のヨーロッパ諸国は、どのような関係にあったのだろう。 | ○ |  |  | ・当時の国際関係について、外交や国際法に着目して、分かりやすくまとめている。（ワークシート） |
| ４ | ５６ | ○重商主義と啓蒙専制主義・ヨーロッパ諸国の動きと影響を理解する。・宮廷文化と市民文化の特色を読み取る。・ヨーロッパの主権国家体制と中国の冊封体制を比較する。 | 17～18世紀のヨーロッパ諸国は、どのような情勢にあったのだろう。 | ● | ○ | ● | ・ヨーロッパ諸国の覇権の推移や、植民地争奪戦争の経過と結果などを理解している。（小テスト）・資料から、商業活動の活性化が特色ある文化を生み出したことを読み取っている。（ワークシート）・ヨーロッパの主権国家体制の特色を、中国の冊封体制と比較し、適切に表現している。（レポート） |
| ５ | ７本時 | ○アメリカ大陸の変容ヨーロッパ諸国の進出がアメリカ大陸にどのような変化をもたらしたのだろう。・身近な食材について、日本に広がった経緯を調べ、発表する。・植民地活動の展開やその影響をまとめる。 | ○ | ● | ○ |  | ・アメリカ原産の食材が、私たちの食生活に広く浸透していることに気付いている。（発表内容）・資料から、植民地活動の影響に気付き、新たな問いとしてまとめている。（ワークシート） |
| － | ８ | ○定期テスト |  | ● | ● | ● | ・単元の目標に到達している。 |

５　本時の指導（第７時）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学習内容 | 学習活動 | 指導上の留意点 |
| 導入５分 | ○アメリカ大陸の古代の歴史 | ・アメリカ大陸の古代の歴史を理解する。 | ・写真資料を効果的に使用する。・先住民は、なぜ、アジアに多く見られる人種と同じ人種であるのかを考えさせる。 |
| 展開40分 | ○身近な食材の原産地と広まった過程○スペイン人による征服○植民地活動の展開 | ・教員が提示した料理から各自一つ選び、その食材の原産地や日本にもたらされた過程を調べる。・スペイン人がたやすく中南米大陸を征服できたのはなぜか考える。・現在の中南米の国々が、多様なルーツをもった人々により構成されていることについて深める。 | ・各自タブレットで調べた内容を、グループ内で共有させる。・普段食べている多くの食材がアメリカ大陸原産であり、江戸期以降、それらが日本に伝来したことに気付かせる。評価規準…アメリカ原産の食材が、私たちの食生活に広く浸透していることに気付いている。（発表内容）・スペイン人が中南米に進出する流れを説明する。・生徒が考えるきっかけとするため、征服を可能にした要因について、いくつかの着眼点を示す。・「コロンブスの交換」に触れ、前時までの学習活動を補足する。・生徒のタブレットにサッカー代表チームの写真を送信し、導入部の質問も踏まえ、問いを立てさせる。・アフリカ系奴隷導入について説明する。評価規準…資料から植民地活動の影響に気付き、新たな問いとしてまとめている。（ワークシート） |
| まとめ５分 | ○本時の振り返り | ・アメリカ大陸とヨーロッパの出会いは、互いに何をもたらしたかまとめる。 | ・「○○が歴史を変えた」というテーマで、各自、80字程度の文章にまとめる。 |